



平成27年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年12月10日

東

上場会社名 株式会社イーブックイニシアティブジャパン 上場取引所  
 コード番号 3658 URL http://corp.ebookjapan.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小出 齊  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 磯江 英子 (TEL) 03 (3518) 9544  
 四半期報告書提出予定日 平成26年12月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第3四半期の連結業績 (平成26年2月1日～平成26年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第3四半期	3,719	—	302	—	303	—	203	—
26年1月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年1月期第3四半期 196百万円( —%) 26年1月期第3四半期 100百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第3四半期	44.39	43.02
26年1月期第3四半期	—	—

(注) 平成27年1月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年1月期第3四半期の数値及び前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年1月期第3四半期	3,541	2,179	60.7
26年1月期	—	—	—

(参考) 自己資本 27年1月期第3四半期 2,147百万円 26年1月期 100百万円

(注) 平成27年1月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年1月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年1月期	—	0.00	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想 (平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,070	—	298	—	297	—	178	—	38.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成27年1月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(注) 特定子会社の異動には該当しませんが、株式会社トキオ・ゲッツを第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年1月期3Q	4,798,400株	26年1月期	4,781,400株
② 期末自己株式数	27年1月期3Q	200,000株	26年1月期	200,000株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年1月期3Q	4,593,986株	26年1月期3Q	4,164,328株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

第2四半期連結会計期間において、株式会社トキオ・ゲッツの株式を取得し子会社化したことに伴い、連結の範囲に含めております。

なお、株式会社トキオ・ゲッツの決算日である平成26年5月31日をみなし取得日としているため、第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書には、同社の平成26年6月1日から平成26年8月31日までの3ヶ月間の業績が含まれております。

また、第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期等との比較分析は行っておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果により、緩やかな回復基調となっておりますが、一方、急激な円安や海外景気の下振れなどのリスク要因も存在するなかで、消費増税後の消費動向にも不透明感が残るなど、予断を許さない状況が継続しております。

このような事業環境のもと、2014年9月末のスマートフォンとフィーチャーフォンを合わせた携帯電話端末契約数1億2,424万件のうち、スマートフォン契約数が6,248万件（構成比50.3%）となり、当社が提供する電子書籍閲覧サービスの主力であるスマートフォンの契約数が、2014年9月にはじめて過半数となりました。（出典：2014年10月30日 株式会社MM総研調べ）

また、電子書籍を閲覧する端末においても、スマートフォンのほかに、Android、iOS以外では、Windows端末の人氣が上昇しており、端末の選択肢が広がっております。

このような事業環境のもと、当社では品揃えNo. 1、使い易さNo. 1、サービスNo. 1を基本方針に据えて取り組んだ結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高3,719,884千円、営業利益302,645千円、経常利益303,621千円となり、四半期純利益は203,930千円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ① 電子書籍配信事業

当第3四半期連結累計期間は、引き続き品揃えの強化を行った結果、一般書籍についても冊数が大幅に増加し、平成26年10月末時点の取扱い数は、260,390冊（内訳：男性漫画57,410冊、女性漫画53,830冊、総合図書136,190冊、その他12,960冊）となりました。コミックにおいては、横山光輝の生誕80周年を記念して、著者の作品及び俳優や作家など多数の著名人からのコメントを収録した「横山光輝生誕80周年記念読本」を無料配信し、漫画ファンへ訴求しました。また、少年画報社70周年を記念する共同事業の一環として、「赤胴鈴之助」「白馬童子」など、入手が困難な昭和の名作漫画の配信を開始しました。今後も価値のある希少本の提供を行い、ラインナップを拡充していく予定です。

販売促進施策としては、新規会員の獲得を企図し、コンサート会場や漫画イベントなど大勢の観客を集客する催しにおいての専用アプリやeBook図書券を配布、台湾のエレクトロニクスメーカーであるASUS JAPAN株式会社のタブレット端末やスマートフォン端末への当社ブックリーダーアプリの標準搭載及びWindowsストアへのブックリーダーアプリの提供などを開始し利用者の裾野の拡大に努めました。

以上の結果から、当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,390,129千円となりました。

#### ② 電子書籍提供事業

当第3四半期連結会計期間からコンテンツ及び仕組みをパートナーへ提供する事業については、「電子書籍提供事業」に変更をした結果、「その他の事業」に含めていた航空機内向けサービスは、「電子書籍提供事業」に含めております。当第3四半期連結累計期間の売上高は、218,134千円となりました。

#### ③ プロモーション・その他事業

当第3四半期連結会計期間から株式会社トキオ・ゲッツの売上が計上されています。人気漫画コンテンツのキャラクターを用いたタイアップ・プロモーション、クールジャパンイベントの開催、また、パートナーサイトへのウェブコンテンツの提供のほか、eBook図書券の販売等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は、111,619千円となりました。

※ 前四半期までの「その他の事業」は、株式会社トキオ・ゲッツの連結子会社化に伴い、「プロモーション・その他事業」に名称変更いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、3,541,134千円となりました。

流動資産は3,154,790千円となりました。主な内訳につきましては、現金及び預金が2,589,761千円、売掛金及び受取手形が472,546千円であります。

固定資産は386,344千円となりました。主な内訳につきましては、無形固定資産が227,212千円、投資その他の資産が95,079千円であります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、1,361,971千円となりました。主な内訳につきましては、買掛金が921,280千円、未払法人税等が20,340千円であります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、2,179,163千円となりました。主な内訳につきましては、資本金が523,157千円、資本剰余金が534,168千円、利益剰余金が1,175,889千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、計画通りに推移しており、平成26年9月8日に公表した平成27年1月期の連結業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、第2四半期連結会計期間において株式会社トキオ・ゲッツの株式を取得し子会社化したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
(平成26年10月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,589,761
受取手形及び売掛金	472,546
商品	196
仕掛品	4,468
貯蔵品	73
繰延税金資産	32,236
その他	55,507
流動資産合計	3,154,790
固定資産	
有形固定資産	64,052
無形固定資産	
のれん	86,998
その他	140,213
無形固定資産合計	227,212
投資その他の資産	
繰延税金資産	5,181
その他	89,897
投資その他の資産合計	95,079
固定資産合計	386,344
資産合計	3,541,134

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
(平成26年10月31日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	921,280
短期借入金	26,995
1年内返済予定の長期借入金	35,282
未払法人税等	20,340
ポイント引当金	65,943
賞与引当金	15,731
その他	227,075
流動負債合計	1,312,648
固定負債	
長期借入金	46,118
資産除去債務	3,204
固定負債合計	49,322
負債合計	1,361,971
純資産の部	
株主資本	
資本金	523,157
資本剰余金	534,168
利益剰余金	1,175,889
自己株式	△85,602
株主資本合計	2,147,613
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	108
その他の包括利益累計額合計	108
新株予約権	15,496
少数株主持分	15,945
純資産合計	2,179,163
負債純資産合計	3,541,134



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)
売上高	3,719,884
売上原価	2,094,987
売上総利益	1,624,896
販売費及び一般管理費	1,322,251
営業利益	302,645
営業外収益	
受取利息	65
為替差益	992
不要書籍売却益	210
その他	257
営業外収益合計	1,527
営業外費用	
支払利息	551
営業外費用合計	551
経常利益	303,621
税金等調整前四半期純利益	303,621
法人税、住民税及び事業税	99,396
法人税等調整額	7,252
法人税等合計	106,649
少数株主損益調整前四半期純利益	196,971
少数株主損失(△)	△6,958
四半期純利益	203,930

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	196,971
その他の包括利益	
其他有価証券評価差額金	△312
為替換算調整勘定	180
その他の包括利益合計	△132
四半期包括利益	196,839
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	203,725
少数株主に係る四半期包括利益	△6,886

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。